

## 新シリーズ 委員会メンバー便り 第 11 回 石川県自動車部品商協同組合の軌跡 Vol. 2

経営組織委員会  
委員 柄崎 一郎

「メルマガ全部協プライムニュース」におきましても、シリーズで全部協の委員会メンバーの皆様から、いろんな話題を提供して参ります。ジャンルを問わず委員メンバーの関わった事柄を自由題材に記事として提供して頂き掲載して参ります。

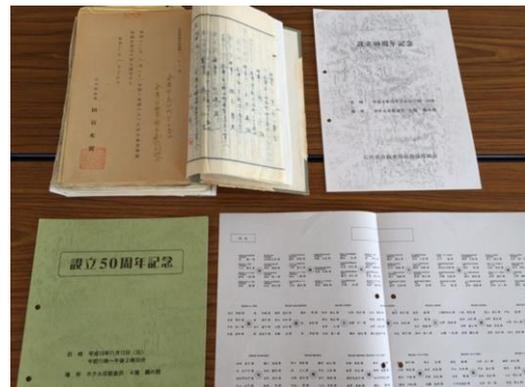


柄崎委員  
(株)つかさき商会 石川県

石川県自動車部品商協同組合は今年で設立 60 年目を迎える事が出来ました。昭和 32 年に産声を上げ、人間で例えれば還暦にあたります。11 社でスタートした組合ですが、19 社をピークに現在では 10 社にて運営をしております。設立当初から中小企業協同組合として認可を受け、現在に至るまで納税をさせて頂いております。昨年、組合員数の減少などの理由で 30 年ぶりに定款変更を行いました。役員定数の変更や出資金の見直し、さらには株式の売却や銀行口座の整理など、次世代に正確に引き継ぎ出来る様改善を行っています。

当組合の特徴として、全国では珍しい合同慰安会を不定期ですが開催しております。バス 3 台をチャーターし、約 120 名の参加者と 1 泊 2 日の日程で旅をしています。近年では、地元の部品卸問屋さんもお誘いしております。過去の行先は、佐渡島、草津温泉、名古屋、伊勢志摩、大阪、京都等、各社の従業員が一同に集まりコミュニケーションを深める唯一の行事だと認識しています。業務上もっとも大切な「おもてなし」を体験できる帝国ホテルに宿泊した事もあります。若手のお笑い芸人さんがバスに乗り込み、移動中常に笑いが絶えなかった事が印象に残っています。

本来であれば今年が合同慰安会の年ですが、周年行事と重なった為、60 周年記念式典を開催する事となりました。30 周年から数えて 4 回目となる記念式典を、今年 10 月に行う事が決定しました。歴代理事長への感謝と、従業員の永年勤続表彰等が含まれた式典となります。現在、その内容の打ち合わせで毎月討議をしている最中です。10 年前、50 周年の時の御挨拶で、当時の J A P A の中嶋会長が「自動車部品のアフターマーケットは宝の山です」と挨拶されたのがとても印象に残っています。



60 年前の決算書と過去の周年式典案内

10 年で異様なくらいの変化がありました。まだまだ我々の認識不足、勉強不足が表に出ていると思います。整備工場さん、部品商、卸問屋さんとの三位一体でこの難しい時代を乗り切れば、明るい未来が築けると思われます。自動車は年々進化しています。部品に携わる我々も自動車の進化に遅れることなく、常に進化、発展をしていかねばなりません。次世代に向けて、少しでも繁栄に繋がる行動を取って行き、老舗と言われる 100 年続く協同組合を目指したいものです。